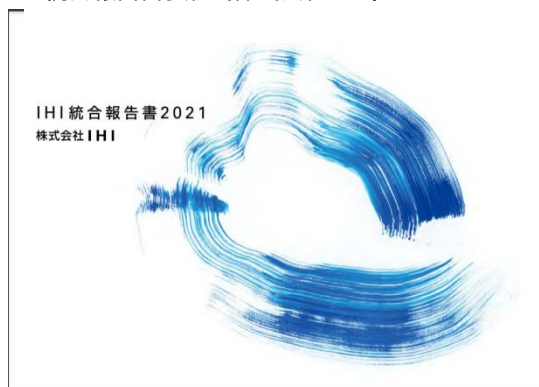


## 障がい者に、適正な「著作権料」を！ 障がい者支援団体国内初の「著作権等管理事業者」として登録

- 一般社団法人障がい者アート協会は、障がい者支援団体として国内初となる「著作権等管理事業者」として文化庁に登録されました。
- 今回の登録によって障がいがある人々の生み出すアートの著作権が使用された際の著作権使用料が公に認められ、対価の還元を推し進める原動力になります。
- 障害者への著作権使用料は手数料などの費用を差し引かれず 100%が支払われます。透明性を保証することによって、企業や個人のアート利用促進が図られます。
- 一般社団法人 障がい者アート協会は、2015 年 12 月に設立。以来、障がいのある人々が生み出すアート作品をオンラインギャラリー【アートの輪】で作品公開してまいりました。さらにノベルティグッズへの転用など、企業による作品の二次利用を通して、障がい者の創作活動を広く社会に知らしめるとともに、そこから発生する収益を当事者たちに還元。障がい者の自立支援の仕組みづくりに取り組んできました。
- このオンラインギャラリーでは約 1,300 名の登録者が生み出す約 45,000 点の作品を公開。「障がい者アート」を管理する団体としては当協会は国内最大です。
- 今回、「著作権等管理事業者」として登録されることで、「作品が商品に採用されたのに著作権使用料を所属する団体から貰えない」といったトラブルを防ぐとともに、作品の管理委託規程や作品使用料、作者に渡る著作権使用料等は公開情報となり、実際の対価支払いについても作品の管理委託契約を作者と直接締結することから、当協会を通したアートの取引全体に透明性が確保されます。
- これを機に作者も作品を活用する企業も安心してこの取り組みに参加することができます。

統合報告書表紙（株式会社 IHI）



オリジナルカレンダー（オーディオテクニカ）



以上